

小金井市長期計画起草委員会（「子どもと教育」「福祉と健康」第4回）

日 時 令和2年2月5日（水）午後6時30分～午後8時20分

場 所 市役所第二庁舎601会議室

出席委員 6人

リーダー 浅野 智彦 委員

委員 森 文香 委員 中村 彰宏 委員

高野 博美 委員 石塚 勝敏 委員

杉中 清良 委員

欠席委員 0人

---

担当課 保険年金課長 高橋 美月

地域福祉課長 伏見 佳之

自立生活支援課長 加藤 真一

介護福祉課長 鈴木 茂哉

高齢福祉担当課長 平岡 美佐

健康課長 石原 弘一

---

事務局 企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課係長 古賀 誠

企画政策課主任 前坂 悟史

株式会社創建 左近 靖博

---

傍聴者 0人

---

要点記録

1 第5次小金井市前期基本計画について

（施策22 福祉のまちづくりの推進）

○施策の方向性①

- ・民生委員の現状や役割について、担当課に確認した。
- ・民生委員の欠員補充の課題解決については、具体的な事業の内容に関わるため、担当課への意見とする。

（施策23 高齢者の生きがいの充実）

○指標

- ・高齢者の就労率を指標にしてはどうか。
- ・就労も社会参加の一部であり、指標の「社会活動」に含まれるのではないか。
- ・指標についての考え方を事務局で整理する。

(施策24 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実)

○施策の方向性④

- ・地域包括ケアシステムに対する計画上の考え方について、担当課に確認した。

○施策の方向性⑤

- ・施策の方向性に書かれている「利便性」について、担当課に確認した。

(施策25 障がい者福祉の充実)

○目指す姿

- ・資料13の修正案「安心して暮らしていける共生都市・小金井を目指すまち」を「安心して暮らしていけるまち」に変更してはどうか。

○施策の方向性①

- ・「交流できる意識づくりを推進します」を「交流することと意識づくりを推進します」に変更してはどうか。

○施策の方向性③

- ・「障がいの予防」とはどのような意味か。分かりやすい表現を検討してはどうか。

(施策26 健康の維持・増進)

○目指す姿

- ・計画の10年先を見据えて「フレイル予防」「人生会議」といった言葉を入れるのはどうか。
- ・新しい社会動向に注視することを求め、担当課への意見とする。

2 その他

- ・文言の調整は、リーダーに一任とする。